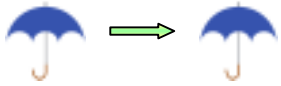



















【産業動向概要】

<p>産業全体</p> 	<p>09年8月を中心とした県内経済は、輸出が大幅に減少し、自動車新規登録台数などに回復の動きはあるものの、大型小売店販売額・新設住宅着工など個人消費も依然低迷、雇用・所得環境も厳しい状況となっている。しかし在庫調整の進捗や政策効果などから企業の生産活動に下げ止まりの兆しが伺え、県内経済は悪化しているものの、悪化のテンポはやや緩やかになってきている。</p>
--	--








































<p>観光・旅館業</p>		<p>夏休み期間中の伊豆地区の宿泊動向は、客数・売上高とも前年を下回り、低調に推移した模様。景気後退や天候不順等の影響が重なり、全体的に厳しい状況とみられる。また、海水浴客も梅雨明けの遅れが響き、一部市町を除き大幅減となっている。</p>
<p>紙類</p>		<p>古紙の国内価格は強含みの状態に変化。家庭紙（衛生用紙）は生産が減少しているが、需要減に押され店頭での小売価格は低下傾向。段ボール原紙も需要減が続いているが、メーカーの減産対応により価格水準は維持されている。</p>
<p>水産業</p>		<p>5月～7月の静岡県主要漁港の水揚量は、マグロ類は増加したものの、カツオやサバ類が不漁で全体として減少。不況による需要低迷や円高による輸入マグロの値下りにより魚価も下落し、総水揚高は前年比約3割減。</p>
<p>一般機械（主要）</p>		<p>金属工作機械は9ヵ月連続で前年割れとなり、先行きは厳しいと予想。金型も前期同様二桁のマイナスと先行きは厳しい。パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械もマイナス幅が拡大。</p>
<p>木材</p>		<p>県内新設住宅着工は依然前年割れが続く、今後の見通しも当面厳しいものと予想。製材品県内生産量は4期連続で前年比20%強の減少が継続。製材用素材価格は、減産に伴う在庫調整により上昇に転じたが、需要の低迷により先行きは不透明。</p>
<p>缶詰</p>		<p>ツナ缶は需要低迷により生産量は減少。果物缶・野菜缶は前年比ほぼ横ばい。飲料缶類は夏季の天候不良による需要低迷により生産量は減少。缶詰全体の生産量は約1割減少。</p>
<p>楽器</p>		<p>主力のピアノは、輸出の落ち込みが激しく、生産台数、販売台数ともに前年実績を大幅に下回る。9月以降、生産調整を本格的に進める。電気・電子ピアノをはじめとする電子楽器類においても生産・販売はともに低調。</p>

輸 送 用 機 器		 → 	<p>09年4月～6月の遠州地域の二輪車生産台数は、国内向け、輸出向けともに大幅に減少。県内の自動車部品生産金額も減少が続く。自動車部品は在庫調整の進展やエコカー減税効果などでマイナス幅は縮小しているが、下期以降の二番底を警戒する経営者も多い</p>
	二輪車 	自動車部品 	

				
明　　る　　い	やや明るい	停　　滞	やや不振	不　　振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	07/4 (07/9)	07/7 (07/12)	08/1 (08/3)	08/4 (08/6)	08/7 (08/9)	08/10 (08/12)	09/1 (09/3)	09/4 (09/6)	09/7 (09/9)
概況 		→						→	
観光・旅館業 							→		
紙類 			→			→			
水産 		→				→		→	
一般機械(主要) 		→							→
木材 		→							
缶詰 		→				→			
楽器 		→					→		
輸送用機器 		→		→			→		